

する優良な住宅地の整備、さらに、森林地域や中山間地における自然環境に恵まれた居住地の確保など、多様な居住空間を提供する地域づくりを目指すとともに、誰もが安心してまちへ出かけ、みんなが安心して暮らせるユニバーサルデザインのまちづくりを進め、住みやすい地域づくりを目指します。

| | |
|-------------|-------------------------------------|
| 地域整備 の方向 | <input type="radio"/> 都心居住の推進 |
| | <input type="radio"/> 田園居住、多自然居住の推進 |

(4) 交通ネットワーク形成などによる産業に活力ある地域づくり

福岡方面及び長崎方面と結ばれる東西方向の連携の強化や南北方向のアクセス性を高め、有明佐賀空港の利活用や情報通信基盤整備などによって、佐賀大学などの研究開発機能との連携を図り、産・学・官の連携のもとに、地域資源を活かした新規産業などの育成、活気ある地域づくりを目指します。

| | |
|-------------|---|
| 地域整備 の方向 | <input type="radio"/> 交通ネットワークの整備拡充 |
| | <input type="radio"/> 交通ネットワーク、情報通信基盤整備などを活かした産業の振興 |
| | <input type="radio"/> 自然、歴史を活かした観光ネットワークの形成 |

③ 将来地域構造

- ・本地域は、県都である佐賀市を中心とした佐賀県の中核都市圏として、県勢の発展を牽引する役割を担っています。
- ・今後、本地域が佐賀県の中核都市圏としてのポテンシャルを更に高めるためには、広域的拠点性を高め、有明佐賀空港や広域高速交通ネットワークを活かした県内他地域をはじめ、県外との広域的な連携を促進するとともに、地域内においては多様な都市間の連携が強化されることが望まれます。
- ・北部の森林地域や南部の有明海干潟などの生態的にも優れた自然的環境や田園環境を保全するとともに、拠点間をつなぐ都市軸と、河川の水系を中心にした自然環境軸から構成される将来地域構造の形成を目指します。



2) 東部地域

地域の将来像（佐賀県総合計画より）

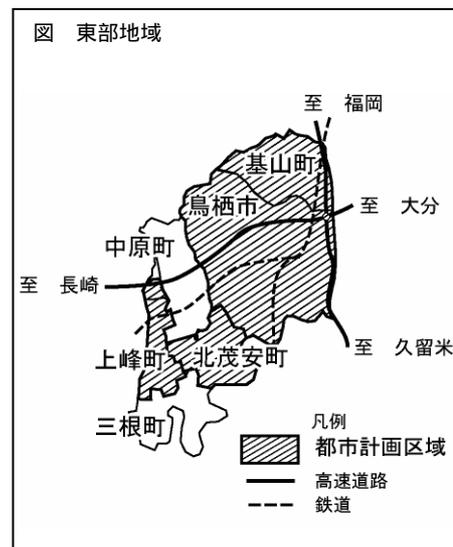
アジアをにらんだ内陸交流拠点

本地域は、高速道路や鉄道などの高速幹線交通網のクロスポイントにあたり、福岡都市圏や久留米都市圏など九州全域との交流が盛んな地域です。

今後、九州新幹線の整備や新鳥栖駅の設置など、この地域の交流機能はさらに高まることが予測され、アジアを視野に入れた人、モノ、情報の交流拠点としての形成が期待されています。

地域整備の方向

佐賀県総合計画による東部地域の将来像、地域の発展方向を踏まえ、地域整備の基本理念、地域整備の基本方向を、次のように定めます。



(1) 交通の要衝である立地ポテンシャルを活かした産業、研究・開発などの活力ある地域づくり

本地域は、九州の主要都市を連絡する高速道路や鉄道のクロスポイントに位置し、九州の陸上交通の要衝となっています。このため、今後も広域交通の要衝として、広域物流をはじめ研究開発、工業の機能強化を図ることにより、多様な交流を創出する活力ある地域づくりを目指します。

| | |
|-------------|-----------------------------|
| 地域整備 の方向 | 広域物流拠点としての機能強化、技術開発・研究拠点の整備 |
| | 鳥栖駅周辺整備による都市構造の再編 |
| | 圏域内の幹線道路網の整備 |

(2) 県境を越えた多様な連携・交流を先導する地域づくり

本地域は、福岡都市圏や久留米都市圏との交流が盛んな地域であり、これからも生活、産業、文化などの多様な連携・交流を促進します。さらに、県外との多様な連携・交流を活性化することにより、地域発展の活力を、県都である佐賀市との連携を通して、県全体に波及させることを目指します。

| | |
|-------------|--------------------------|
| 地域整備 の方向 | 久留米都市圏、福岡都市圏などとの多様な連携の強化 |
| | 佐賀都市圏との連携促進 |
| | 九州の主要都市との交流連携 |

(3) 田園環境や豊かな自然を身近に享受できるうるおいある地域づくり

本地域の南部、西部を中心に広がる優良農地の保全に努めるとともに、地域の北部に広がる豊かな自然環境、身近な自然環境を保全・整備・活用することにより、地域

住民が、生活の質を高め豊かな日常生活が送れるような地域づくりを目指します。

| | |
|-------------|-------------------------------|
| 地域整備 の方向 | 身近な自然の保全・活用 |
| | 自然と都市のバランスある土地利用コントロールと都市基盤整備 |

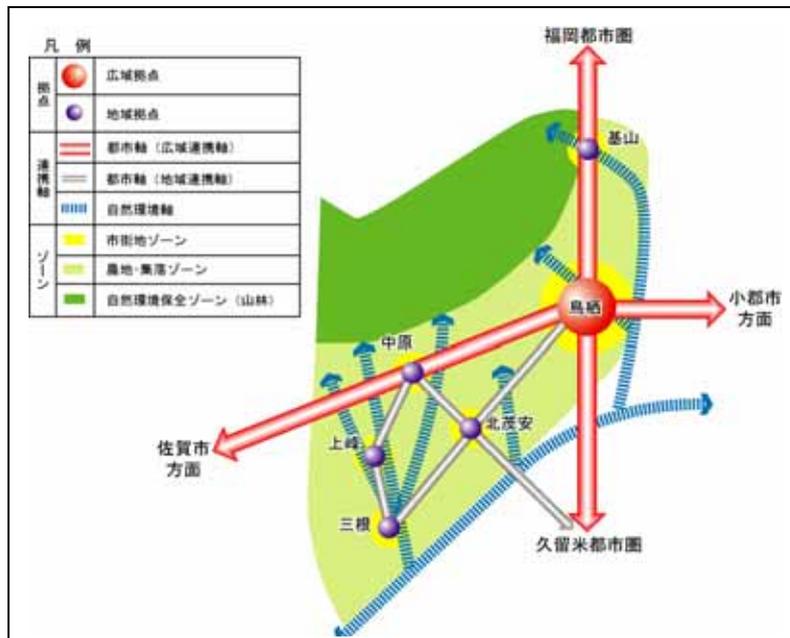
(4) 快適で安心して暮らせる良好な居住環境を提供できる地域づくり

鳥栖市内や基山町内などの就業地への近接性や、周辺都市との鉄道・道路の高い交通利便性を背景とした住宅需要に応える必要があり、農業的土地利用との調和を図りながら、就業者だけでなく高齢者や子育て世代など、あらゆる世代が安心して住める良好な居住環境を提供できるような地域づくりを目指します。

| | |
|-------------|-----------|
| 地域整備 の方向 | 優良な住宅地の供給 |
|-------------|-----------|

将来地域構造

- ・ 本地域の九州における交通の要衝としての条件から、本県における産業・経済の発展を牽引する拠点地域として本地域を位置づけます。中でも、高速道路の鳥栖ジャンクションがあり、鉄道の分岐点となっている鳥栖市を中心都市として位置づけ、これを核として、都市づくりを進めていきます。
- ・ 本地域は、位置的条件から福岡都市圏、久留米市などとのつながりが強く、特に、筑後川などで接する久留米市とのつながりが深いことから、久留米市との機能分担、都市機能の適正な配置を進めていきます。
- ・ このため、都市機能は国道3号や国道34号などを基軸として適正な配置に努め、市街地近接部の緑地などの自然的環境と都市機能とが調和した地域構造を目指し、北部森林地域の保全と南部の筑後川沿いの肥沃な優良農地の保全を図ります。
- ・ 北部の森林地域などの優れた自然的環境や、南部の筑後川沿いの肥沃な優良農地を保全するとともに、拠点間をつなぐ都市軸と、河川の水系を中心にした自然環境軸から構成される将来地域構造の形成を目指します。



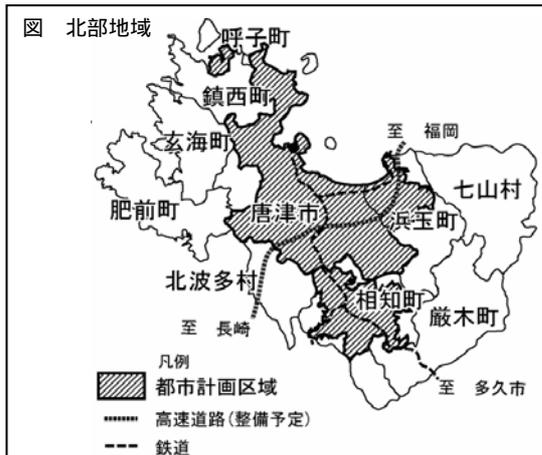
3) 北部地域

地域の将来像 (佐賀県総合計画より)

豊かな自然と歴史が織りなす
海・陸の交流拠点

本地域は、県内第2の都市唐津市を中心に、まとまりのある圏域を形成しており、玄界灘の風光明媚な景観や新鮮な山海の幸、特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」、唐津くんちなどの多彩な歴史・文化などを背景に福岡都市圏をはじめ多くの観光客が訪れています。

今後、豊かな自然や歴史・文化を生かした観光などの振興や快適な都市空間・生活空間の整備を図り、人・産業・情報が流入しやすい魅力ある地域づくりを進めるとともに、広域・高速交通基盤の整備と相まって、佐賀都市圏との連携を強化し、福岡都市圏との交流を拡大することにより、西九州の拠点都市として発展することが期待されます。



地域整備の方向

佐賀県総合計画による北部地域の将来像、地域の発展方向を踏まえ、地域整備の基本理念、地域整備の基本方向を、次のように定めます。

(1) 西九州の拠点として都市機能が集積した活力ある地域づくり

県内第2の都市である唐津市は、本地域の中心都市として、都市機能の集積や商業の振興、歴史文化を活かした快適な都市空間整備を行い、また、本県の北の玄関口であり国際観光港、貿易港である唐津港の港湾機能の高度化、多機能化を図り、本地域を牽引する広域交流拠点としての整備を行います。

| | |
|-------------|---------------------------|
| 地域整備 の方向 | 都市機能の強化による地方拠点都市整備 |
| | 国際観光港、貿易港として唐津港の港湾機能の整備充実 |

(2) 玄界灘の豊かな自然や歴史を実感できる地域づくり

本地域は、七ツ釜や虹の松原などに代表される玄界灘の風光明媚な景観・自然環境、特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」をはじめとする数多くの貴重な歴史的文化遺産を保全し、それらの自然や歴史文化に囲まれて暮らすことの豊かさを実感できる地域づくりを進めます。このため、唐津城内地区などで、歴史的な景観の保全や都市計画制度などの活用による土地利用の規制誘導や計画的な土地利用の推進を図ります。

| | |
|-------------|-----------------------|
| 地域整備 の方向 | 優れた自然環境を保全する土地利用の規制誘導 |
| | 歴史的文化遺産の保全・活用 |

(3) 広域交通ネットワーク整備などによる滞在型交流地域づくり

本地域は、海陸の広域交流を促進し、地域の活性化を図っていくため、西九州自動車道をはじめとする幹線道路網の整備、鉄道や港湾機能の充実など、広域交通網や地

域内の交通基盤整備を促進します。また、各市町村固有の農林水産業の資源の活用と振興や、地域内及び県内外の観光ネットワークの形成を図り、ブルーツーリズムやグリーンツーリズムの推進などにより、滞在型観光地の整備を行います。

| | |
|-------------|--------------------------|
| 地域整備 の方向 | 広域交通網の整備の推進 |
| | 観光ネットワークの形成と滞在型観光地整備 |
| | 農林水産業の振興と自然レクリエーション拠点の整備 |

(4) 豊かな自然や歴史・文化を享受する多様な居住環境を備えた地域づくり

唐津市中心市街地では、生活利便性を備えた快適な都市環境や歴史的環境を享受する都市型住宅地の整備を図り、縁辺部では、都市計画制度などの活用を図り、農林業的土地利用と調和した住宅地の整備を図ります。また、沿岸域や中山間地では、玄界灘の優れた景観や豊かな森林・緑地などや歴史文化資源などを享受する多自然型の住宅地の整備を図ります。これら多様な居住環境の安全で快適な暮らしを支えるため、災害対策や下水道などの基盤整備を進めます。

| | |
|-------------|---------------------------|
| 地域整備 の方向 | 身近な自然や歴史・文化を享受する都市型住宅地の整備 |
| | 自然環境と調和する多様な居住環境の整備 |
| | 快適かつ安全・安心な生活環境の形成 |

将来地域構造

- ・ 本地域は、唐津市を中心として浜玉町、呼子町、相知町などの市町村が扇状に周辺を取り囲む構造形態となっており、地域としてのまとまりを有する地域です。今後、更に地域の特色を活かしながら、生活、産業、観光などの面において地域内の都市間相互で連携を強化することにより、相乗的な魅力の向上を図ることが望まれます。
- ・ このため、国道202号や国道203号などを基軸とした都市機能の適正な配置に努めるとともに、唐津港の機能の強化や、西九州自動車道、佐賀唐津道路の整備促進などにより、県内各地域をはじめ、県外都市と広域交通ネットワークを活かした広域的な連携の強化を図ります。
- ・ また、玄界灘の沿岸域や虹の松原、天山、八幡岳に広がる豊かな森林などの自然環境を保全するとともに、拠点間をつなぐ都市軸と、河川の水系を中心にした自然環境軸から構成される将来地域構造の形成を目指します。



4) 西部地域

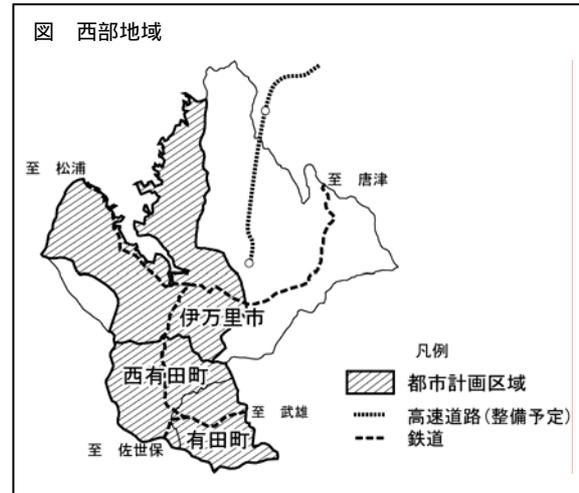
地域の将来像 (佐賀県総合計画より)

世界に開かれたセラミックバレー

本地域は、世界に誇る「伊万里・有田焼」を核とした歴史的・文化的な結びつきを持っており、この1市2町を中心として、武雄市や長崎県の波佐見町、三川内町を含め、広域的な窯業圏を形成しており、黒髪県立自然公園や玄海国定公園など豊かな自然と優れた景観、特色ある農林水産物にも恵まれています。

今後の西九州自動車道の整備や伊万里港における釜山港(韓国)との間のコ

ンテナ航路の開設、松浦市など長崎県2市7町村との多彩な県際交流の展開など、圏域内外との人・モノの新たな交流の機会が増大しています。今後、道路網の整備や伊万里港の機能充実を図りながら、共通の歴史・文化、自然を持つこの地域が、広域的に交流していくことで、世界に開かれたセラミックバレーの形成が期待されます。



地域整備の方向

佐賀県総合計画による西部地域の将来像、地域の発展方向を踏まえ、地域整備の基本理念、地域整備の基本方向を、次のように定めます。

(1) セラミック産業を中心に世界に開かれた交流を育む地域づくり

本地域の中心都市である伊万里市では、駅周辺地区における魅力ある都市空間の形成や、伊万里港の物流機能の充実、臨海部への産業集積を進め、中心都市としての機能強化を図ります。また、本地域が世界に誇る伊万里・有田焼を中心に、地域の伝統的な地場産業である陶磁器産業を、地域の歴史や伝統的文化などを活かした観光や商業などと一体となって振興を図ることにより、広域的な交流を育む地域づくりを進めます。

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 地域整備 の方向 | 伊万里市を中核とした都市機能の強化 |
| | 豊かな地域資源を活かした交流拠点としての機能強化 |
| | 国際貿易港としての機能充実及び臨海型海洋産業の拠点整備 |
| | 陶磁器など地場産業の振興や新たな観光振興を支える都市基盤整備 |

(2) 広域道路ネットワークの形成により県境を越えた多様な連携・交流を推進する地域づくり

県内外の都市とのアクセス利便性を高めるため、西九州自動車道などの幹線道路の整備を推進し、陶磁器のまちとしての特色などを活かした広域観光ネットワークの強化を図ります。また、本地域は長崎県との県際交流が盛んですが、今後、北松浦半島

一帯の振興を図る海洋クラスター構想を推進することにより、県西部における連携・交流の活性化を図ります。

| | |
|-------------|----------------------|
| 地域整備 の方向 | 交流都市として広域道路ネットワークの整備 |
| | 長崎県との県際交流の増大 |
| | 広域観光ネットワークの形成 |

(3) 豊かな自然や特色ある歴史・文化を活かした定住促進地域づくり

快適な生活環境の確保や、伊万里湾、河川などの水質保全を図るため、下水道、広域公園などの都市基盤の整備を進め、本地域の豊かな自然環境を活かした多自然型の居住環境の整備や、陶磁器のまちとしての特色ある歴史・文化を活かした居住環境の整備を図ることにより、定住化を促進します。また、今後、西九州自動車道のインターチェンジ周辺などの開発圧力が高まることが予想される地区については、計画的な土地利用誘導を進めていきます。

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 地域整備 の方向 | 豊かな自然、資源を活かし、居住環境の整備と定住化の促進 |
| | 下水道、公園等の整備による快適かつ安全・安心な居住環境の形成 |
| | 幹線道路沿道などにおける計画的な土地利用の誘導 |

将来地域構造

- ・本地域が、佐賀県のセラミックバレーとして発展するためには、中心都市である伊万里市と、全国的な焼物の産地である有田町の連携強化により、広域的な窯業圏の核を形成し、県外都市や県内他地域との相互連携を強化することにより、相乗的な魅力の向上を図ることができると期待される地域構造とすることが望まれます。
- ・このため、伊万里港の物流機能の強化・拡充や、国道204号や国道202号などを基軸とした都市機能の適正な配置に努めます。
- ・また、本地域は広域観光ルート上に位置し、全国的な観光地である佐世保や平戸への玄関口となっているため、広域交通ネットワークの拡充を図り、県内各地域や県外地域との広域的な連携の強化を図ります。
- ・玄界灘の沿岸や、黒髪山、国見岳に広がる豊かな森林などの自然環境を保全するとともに、拠点間をつなぐ都市軸と、河川の水系を中心にした自然環境軸から構成される将来地域構造の形成を目指します。



5) 南部地域

地域の将来像 (佐賀県総合計画より)

豊かな自然を生かし
未来に広がる交流ゾーン

本地域は、嬉野温泉・武雄温泉といった全国的に知名度が高い保養地を有し、有明海の豊かな海、多良岳に代表される野趣あふれる美しい自然とそこで育まれた多彩な農林水産物に恵まれています。

また、地域内には、武雄市、鹿島市の2つの中心都市があり複眼的な地域構造となっており、今後は、有明海沿岸道路の整備計画・構想や、九州新幹線長崎ルートとの整備が予定されており、さらに広域的な交流が拡大していく可能性を持っています。こうした広域交通ネットワークと豊かな自然などを活かしながら、地域の連携を強化し、全国的な観光スポットとして発展する個性と魅力ある交流ゾーンの形成が期待されます。



地域整備の方向

佐賀県総合計画による南部地域の将来像、地域の発展方向を踏まえ、地域整備の基本理念、地域整備の基本方向を、次のように定めます。

(1) 3都(武雄市・鹿島市・嬉野町)の交流拠点が連携した魅力の高い地域づくり

本地域には、武雄市、鹿島市といった2つの中心都市がありますが、今後、観光を中心に自立した地域を形成するため、全国的な観光地である嬉野町との補完・連携を図り、3都の交流拠点が連携した魅力の高い地域の形成を図ることが必要です。このため、武雄市、鹿島市、嬉野町の中心市街地の活性化を図り、観光、商業などの機能や魅力を相互に補完し合いながら、地域全体としてのポテンシャル向上を目指します。

| | |
|-------------|-------------------------|
| 地域整備 の方向 | 武雄市・鹿島市・嬉野町の中心市街地再生 |
| | 武雄市・鹿島市・嬉野町の相互連携の強化 |
| | 連続立体交差事業などの推進による都市基盤の充実 |

(2) 温泉と豊かな農林水産物を活かした保養型観光地域づくり

本地域は嬉野温泉、武雄温泉といった全国的に知名度が高い保養地を有し、本県の宿泊滞在拠点となっています。また、本地域は豊かな農林水産物に恵まれ、優れた自然や祐徳稲荷神社、旧長崎街道などの歴史文化資源を多く有していることから、こうした地域資源を活用した滞在型の保養型観光地域づくりを進めます。

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 地域整備 の方向 | 温泉や歴史など地域の魅力を活かした保養型観光地の形成 |
| | 自然景観や地域の歴史・文化を活かした魅力ある景観の保全・活用 |

(3) 豊かな自然と共生する安全・安心な地域づくり

本県の自然環境の大きな特徴でもある、広大な干潟や山林の優れた自然環境を保全し、有明海や河川の水質保全を図るため、下水道の整備を推進します。また、本地域の低平地部では、過去において洪水被害を受けており、今後、自然災害に備えた防災対策を講じ、安全・安心な地域づくりを推進します。

| | |
|-------------|---------------------------------|
| 地域整備 の方向 | 優れた自然環境を保全し、共生するうるおいのある地域づくりの推進 |
| | 安全・安心かつ快適な都市基盤の整備 |

(4) 広域交通ネットワークの形成による観光・産業の活力ある地域づくり

有明海沿岸域の各都市などとのアクセス利便性や、有明佐賀空港との連絡性を高めるため、有明海沿岸道路や幹線道路の整備を図るとともに、九州新幹線長崎ルートへの整備推進を目指します。そして、保養型観光の推進をはじめ、豊かな自然、多彩な農林産品、焼き物などを観光資源として活用しながら、県内他地域や県外の観光地との広域的な観光ネットワークの強化を推進します。また、高速交通体系を活かして農業、漁業、工業など地域産業の振興を図ります。

| | |
|-------------|------------------------------|
| 地域整備 の方向 | 幹線道路沿道の計画的土地利用の誘導 |
| | 有明海沿岸道路などの整備による広域交通ネットワークの強化 |
| | 広域交通ネットワークを活かした観光や産業の振興 |

将来地域構造

- ・本地域が、佐賀県の交流ゾーンとして発展するためには、2つの中心都市(武雄市、鹿島市)と、全国的な観光地である嬉野町の3都の連携強化により、観光を基軸としたトライアングルを形成し、これを核に、周辺都市が豊かな自然や農林水産業などの特色を活かしながら、相互の連携強化により、相乗的な魅力の向上を図ることができると期待される地域構造とすることが望まれます。
- ・さらに、本地域は福岡をはじめ、大分・熊本方面から長崎に向う広域観光ルート上に位置しており、広域交通ネットワークを活かし、県内各地域や県外地域との広域的な連携を強化することが必要です。
- ・このため、国道などを基軸として都市機能の適正な配置に努め、豊かな森林・緑地など、有明海沿岸の優良農地や有明海の干潟などの優れた自然的環境を保全します。さらに、拠点間をつなぐ都市軸と、河川の水系を中心にした自然環境軸から構成される将来地域構造の形成を目指します。

